



### 山行報告

#### 二子山(9月3日)

参加者 会員(障害者3名、健常者5名)  
会員外(健常者2名)

今朝は涼しく、とてもさわやかな1日になりそうだ。

芦ヶ久保で全員揃い、出発する。今日は、千葉大学から2人の実習生が参加した。山は初めてのTさんと、ワンゲルでいつも30kgを超えるザックを背負っているYさんだ。



雌岳から雄岳への途中にある岩場

小さな尾根を越えて、沢筋を登っていく。登山は初参加の会員のNさんにもサポートをしていただく。沢にかかる丸太橋をいくつか越えて、急な登りにさしかかる。全盲のAさんは、千葉大のYさんの力強いサポートでぐんぐん登っていく。尾根の直前は、非常に急でロープが張ってあるため、Aさんにはロープに掴まって登っていただく。

途中で、コゲラやコガラが姿を現し、カケスの声も聞こえた。野鳥だけでなく、サルの群れも姿を見せてくれた。

尾根に出て、緩やかに登っていくとほどなく

二子山の雌岳に到着。ここで昼食にする。昼食後、雄岳を往復する。急な岩場などがあり、慎重に通過して、雄岳で記念写真を撮る。武甲山や秩父市街の眺めが素晴らしい。両神山は薄いもやに包まれてはっきり見えなかった。



二子山山頂にて

雌岳に戻って、浅間神社に向けて下る。この道もかなり急だ。浅間神社で休憩し、さらに急なところを下って行く。フシグロセンノウが、鮮やかなオレンジ色を見せてくれたり、ミズヒキの赤い小さな花を楽しむことができた。ギボウシが少しだが咲いていたのには驚いた。

山の中は、とてもさわやかで、吹き抜ける風も気持ちよかったのだが、麓に下りてきて、舗装道路に出たとたん、むっとする暑さにぼやく声が聞こえる。芦ヶ久保の道の駅で、みんなで喉を潤して帰路についた。

9月上旬なので、まだまだ暑いと思いましたが、予想外にさわやかな好天に恵まれて、楽しめた1日でした。

#### コースタイム

芦ヶ久保(9:50)...二子山雌岳(12:00-12:35)...

雄岳(12:45,13:05)...雌岳(13:25)...芦ヶ久保(15:30)

## 岩殿山(9月16日)

参加者 会員(障害者6名、健常者10名)  
会員外(健常者5名)

雨が心配だったが、どんよりと曇っていたものの、雨には一度も降られず、気温も程良い涼しさで楽しむことができました。

大月駅から商店街の中を通り、車道に出て踏切を渡り、さらに桂川を渡ります。渡った少し先から工事中の監視員さんに守られて、道路を横断します。その少し先から登りにかかります。

整備された広い道や階段を登り、丸山公園にあるふれあいの館に到着。ここからの岩壁は圧巻です。ここの岩は、砂利が固められたコンクリートのような岩です。このような岩はかなりもろいと思っていたのですが、ここの岩は意外としっかりしていました。



岩殿山山頂にて

ふれあいの館の左手から本格的な登りにかかります。階段はますます急になってきます。城門跡という岩に挟まれたところを通過すると山頂はすぐそこでした。周囲は、萩がきれいに咲きそろい、秋の装いが始まっていました。

山頂には柵がありますが、その下はあの大きな岩壁です。柵がなかったら足がすくむところです。

展望は遠くまで見られませんでした。大月の市内と周囲の低い山々、左手後ろには百蔵山も見えていました。



目隠しをしてガイドされる練習をする  
実習生

山頂で記念写真を撮った後は、昼食タイムです。昼食の後、持ってきたアイマスクを若い人たちにしてもらって、目隠しをしてサポートしてもらう体験をしてもらいました。Yさんは、ちょっと腰が引けていましたね。階段になったところは、特に怖かったようです。

山頂から東側に下ろうとしましたが、急で足下が滑りやすいため、



萩の蜜を吸うヤマトシジミ

大事を取って山頂に戻り、来た道を引き返しました。

タムラソウやツユクサを楽しみ、ヤマユリの実を見たりしながら、ふれあいの館で30分ほど休憩し、下山しました。

今回は、いつも車窓から気になっていた岩殿山を、最も安全なコースから往復して楽しみました。

## コースタイム

大月(10:35)...丸山公園(11:05,11:20)...岩殿山(11:55,13:00)...丸山公園(13:55,14:20)...大月



今までは、危険のない歩きやすい道がほとんどだったが、ここからは急な下りや痩せ尾根が何度も出てくるようになる。Tさんの足下をよく見ながら下っていく。疲れが出てきたこともあり、ワラビ平からは林道を下ることにする。なんの心配もない林道をぐんぐん下り、温泉には入れなかったが、14時40発のバスに乗っ

## 吾妻耶山(10月8日～9日)

参加者 会員(障害者4名、健常者10名)  
会員外(障害者1名、健常者3名)

10月8日

今日は、会員のNさんの計らいで、そば打ち体験やリンゴ狩りをさせていただいた。関東南部は晴れていたが、冬型気圧配置の影響か川場村は、時折日が差すものの雨が降っていた。おかげで、すばらしい虹を見ることができた。



そば打ち体験を楽しむ

夜もNさんは、誕生日のプレゼントを今回の山行に変更してくれたI君と、初めての泊まりの山行になったYちゃんに、ケーキをプレゼントしてくださった。Nさんの計らいに深く感謝します。

夕食時には、千葉大から来たお二人に目隠しをして食事をしてもらい、視覚障害の不便さを味わってもらいました。また夕食後、I君のピ

て水上に向かった。

## コースタイム

鳩待峠(3:50)...オヤマ沢田代(5:55,6:30)...笠ヶ岳(8:40,8:50)...咲倉沢頭避難小屋(11:00)...林道(12:40)...湯の小屋温泉(14:30)

アノを聞いたりして、団欒を楽しみました。



2重の虹が架かった

10月9日

なかのビレッジの朝食はバイキングでした。朝から、みんな腹一杯食べて大満足です。

少し遅れて、なかのビレッジを出発。今日は、なかのビレッジのKさんとNPO法人あるきんぐクラブのTさんから、ネイチャーガイドをしていただきました。

駐車場に車を止め、木の葉やキノコなどを説明していただきながら、ゆっくりと登っていきます。セキヤノアキチョウジという花も教えていただきました。コンクリートの道から土の道に変わると、大峰沼に到着だ。アオサギがのんびりと沼に佇んでいた。沼を埋める水草が、逆光に光り輝いていました。ルリボシヤンマでしようか？ トンボが産卵している。テングタケやハナイグチなどのキノコが生えていた。

沼からしばらく行くと、林道になる。樹林の切れたところから、これから行く吾妻耶山がよく見えた。谷川岳は山頂を雲に隠している。東には上州武尊山や至仏山、先月登った笠ヶ岳、

そして新雪を抱いた日光白根山も見えていた。さらに皇海山や手前に上州三峰山なども見えている。



吾妻耶山山頂にて

ここから、ちょっと厳しい岩の道になる。スキー場の上に出て、急な登りをクリアすると、吾妻耶山の山頂だ。山頂からは、谷川連峰がとてもよく見えた。朝日岳から平標山まで見え、こ

## 大霧山(10月22日)

参加者 会員(障害者1名、健常者11名)  
会員外(健常者1名)

昨年、一昨年と雨にたたられ中止せざるを得なかった大霧山ですが、今回は、曇り空ながら雨も降らず、初秋の季節を楽しめました。

橋場のバス停で下り、槻川に架かる橋を渡り、しばらく舗装道路を登る。近道があるが、案内板の行き先が「皇鈴CC」となっているため、車道をそのまま登る。近道を登っても間違いなかったようだ。畑には、真っ赤なダリアが満開で美しい。みかんも実っていた。

車道から登山道に入り、整備された道を登る。空が近づくと、粥田峠に到着した。ここには、女性のお地蔵さんが立っていた。この峠は、東京と埼玉を結ぶ、かつて栄えた峠だったそうだ。

ここから、一部に急なところもあるが、歩き

の山頂は谷川連峰の最高の展望台ではないだろうか？ 東側の展望もすばらしい。

山頂で思い思いに昼食を取る。昨日狩ったリングゴが美味しかった。記念写真を撮り、下山にかかる。始まったばかりの紅葉は、緑と赤が混じって美しい。下りは、岩の道を避け、スキー場を下る。子どもたちは、走って下る。

駐車場に戻り、温泉に入って、上毛高原から帰途につきました。大峰山には行かれませんが、谷川連峰の展望が印象的な山でした。

## コースタイム

駐車場(9:15)...大峰沼(9:55,10:10)...吾妻耶山(12:05,12:45)...大峰沼(14:05,14:20)...駐車場(14:55)



山頂を目指す

やすい道を緩やかに登っていく。樹林の切れたところが見え始めると、そこが山頂だった。山頂からは、北西部が開けていて、晴れていれば、西上州や上越の山々が見渡せそうだ。今日はあいにく曇り空のため、遠くは見えなかったが、近くの皇鈴山や、12月の忘年山行で登る美の山が見えていた。

山頂で集合写真を撮って、下山にかかる。山頂の南西に広がる牧場の向こうに笠山や堂平山が見えていたが、今日は山頂付近が雲に覆われていた。松平を過ぎ、旧定峰峠で休憩する。定峰峠は「さだみねとうげ」と読むようだ。



ここからさらに小さなピークを越えて、下ったところが定峰峠だった。バイクやスポーツカーが行き交い、ちょっと危険なところだった。車

## 日向山(10月29日)

参加者 会員(障害者4名、健常者10名)

前日まで雨の予報で、中止も考えたが、天気予報が次第に良くなっていることもあり、予定どおり実施した。ただし、錦滝から不動滝の間が道が崩れて通行不能のため、日向山だけに変更して実施した。

蕪崎駅からタクシーで、矢立石まで入る。矢立石には自家用車で来た人が多く、車がたくさん止まっていた。真っ赤に色づいたカエデが何本もあり、その美しさに驚く。登山道は緩やかに登っていた。真っ赤に色づいたカエデや、オレンジ色のカエデ、グラデーションのようにオレンジと赤が混じったカエデもあった。色とりどりの木々に歓声を上げながら、緩やかな道を登っていく。

次第に周囲はカラマツ林になってきた。葉は黄色というよりもまだ茶色だったが、木漏れ日が差し込み、美しい。平坦になって、少し下り、さらに少し登ると視界が一気に開け、日向山の山頂に到着した。風化した花崗岩の白砂に、みんな驚き、展望を楽しんでいる。八ヶ岳が豊か

道を車に注意して慎重に歩き、途中から近道の登山道を下る。白石車庫のバス停に着く直前に、バスが行ってしまったため、次のバスまで1時間待つことになる。近くのそば屋さんで、喉を潤したり、そばを食べたりしてくつろぎ、予定よりは1時間早いバスに乗り込んだ。

## コースタイム

橋場(10:10)...粥仁田峠(11:10,11:15)...大霧山(11:55,12:35)...旧定峰峠(13:25,13:35)...定峰峠(14:30,14:40)...白石車庫(15:20)



なすそ野を引き、佇んでいる。権現岳の向こうに赤岳の頭が見えた。その左には阿弥陀岳が見える。ずっと左に目を転じると、蓼科山も見えている。甲府盆地の向こうの奥秩父は、雲に隠れていた。北西側には、雨乞岳が緩やかな山頂を見せ、佇んでいる。南西側の甲斐駒は、雲の中だった。

山頂で昼食を取り、記念写真の後、錦滝に向けて下山する。最初の砂場のルートは、見た目ほど危険はなく、スムーズに通過した。左に手には、地蔵岳のオベリスクが見えてきた。白砂が終わり、美しい紅葉の林に入っていく。

ここから、急になることは知っていたが、登山道は転げ落ちるようにぐんぐん下っている。全く息を抜くことができない緊張の連続だ。滑りやすい根っこの斜面でザイルを出して、視覚



障害者の人を確保する。紅葉は素晴らしく美しいのだが、慎重に足下や後を確認しながら下るので、とても鑑賞している暇がない。次々に現れる急な斜面や、ロープを張った斜面を下っていくと、鉄の梯子が現れた。それを下って少し行くと、錦滝の脇にようやく出た。

### 妙義山(11月7日)

参加者 会員(障害者1名、健常者5名)  
会員外(健常者1名)

家を出る時は雨だったが、予報どおり高崎に近づくにつれ次第に青空が見え始めてきた。今日はKさんがお試し参加だ。高崎で乗り換えのため電車を降りようとしたら、こちらに向かってどこかで見た顔が近づいてきた。お会いするのは8年ぶりくらいのため、名前がなかなか出てこない。ようやくYさんであることを思い出し、懐かしさにうれしくなる。今回、山仲間アルプのホームページを見て、合流しようと思って来てくださったとのこと。ありがたく、とてもうれしいことでした。

松井田駅でタクシーを待ち、2台に分乗して妙義山に向かう。妙義山は雲に隠れてよく見えない。もしかしたら雨が降っているかも知れないと思ったが、なんとか雨は降っていなかった。

急な階段を登って、妙義山神社に到着。杉の幹

予約していたタクシーの待ち合わせ時間に遅れるため、NMさんに途中で電話していただいたが、ここからは通じなかった。林道を歩き、電波が届くところで、タクシー会社に電話していただいた。林道の脇には、長大な黒戸尾根が甲斐駒に向かって伸びていた。その脇には、富士山も見えてきた。

タクシーに乗り込み、麓に下りると、富士山と大きな積雲が赤く染まっていた。

### コースタイム

矢立石(10:20)...日向山(12:25,13:05)...錦滝(14:50,15:00)...矢立石(15:40)

がとても太くて驚く。樹齢何年くらいだろうか？ 立派な神社を通り過ぎ、中間道を歩き始める。この付近はまだあまり紅葉していなかった。しばらく行くと第一見晴に到着するが、視界が利かないのでそのまま通り過ぎる。雨もポツポツ降り出したので、カップを着る。



大黒の滝は、細く水量の少ない滝だったが、滝の下の小さな釜から伏流水となって流れていることをYさんが見つけ、他のみなさんは感心して確認していた。

次第に紅葉もきれいになってきた。さらに行くと、第2見晴に到着。すばらしい展望だったが、ものすごい強風で、足場も悪く、記念写真

だけ撮って早々にあとにする。

「本読みの僧」というお地蔵さんが設置された中間地点を通り過ぎ、昼食場所とする東屋を目指す。



覆い被さる岩の下を行く

東屋に11時40分に到着し、ここでお昼とする。休憩中に近畿日本ツーリストの人たち20人くらいが到着し、東屋の周囲で昼食を取っていた。ここから、少し登り、トラバースしていくと、長い鉄製の階段が現れた。この階段で逆方向から来た20人くらいのパーティーと行き違う。狭くて、気を使った。

この付近から今回のハイライトになる。頭上に覆い被さった岩の下をかがみながら通過したり、大岩壁の下を横切ったりしながら、整備された道を歩く。地面を覆い尽くした落ち葉が深く、気持ちよい音を聞かせてくれる。

大砲岩の上もすばらしい展望だった。西上州の山並みの一番右手に、荒船山の特異な山容も

## 矢岳(11月12日 リーダー養成)

参加者 会員(健常者8名)

会員外(健常者1名)

西武秩父駅から9人乗りのジャンボタクシーで矢岳方面に向かう。運転手さんは、この道が初めてだったようで、少し不安があったようだ。ガードレールもない細い道を登っていくと、ロープの張られたゲートに到着。ここから歩き

見えていた。そこから少し下ると、第四石門に到着。自然が作った立派な門に感嘆の声が上がる。子どもたちが先生の引率で、大勢登ってきて、お昼を食べ始めた。



真っ赤に色づいた葉

ここから、見晴台を通過し、中之岳神社に下る。ここからさらに中村のバス停に下る予定だったが、風も強く、タクシーを呼んでここから帰ろうという意見が優勢になって、茶店で休憩し、茶店の方に車で松井田駅まで送っていただいた。

## コースタイム

妙義神社(9:35)...第一見晴(10:05)...大黒の滝(10:15,10:20)...本読みの僧(11:20)...東屋(11:40,12:20)...第四石門(13:30,13:40)...中之岳神社(14:10)

始めることになる。

林道を歩きながら、今回は視覚障害者がいないので、どうも手持ちぶさただなという意見が飛び出す。確かに、その点で気を配る必要がないので、楽な反面物足りなさも感じた。

周囲の紅葉は、なかなか素晴らしい。上空には強風に飛ばされた落ち葉が、太陽の光を付けて輝きながら舞っている。なかなか見ることのできない光景だ。

秩父橋を過ぎ、林道をいくつかカーブすると、

「矢岳登山口」の案内板があった。今回は、リーダー養成が目的のため、道が不明瞭なことを承知して、案内板に従わず、そのすぐ脇に付けられた道に入っていく。



植林帯に付けられた道は、最初はしっかりしていた。しかし、次第に雑木の林になってくると、道は判然としなくなった。事前に1/25000地形図に付けたルートの通り行こうとするが、尾根をまたぐところが急なため、尾根と尾根の間の斜面を登ることにする。落石に注意しながら登っていくと、左手に大きな岩場が出てきた。その右を登っていくと、尾根上に飛び出した。

たぶん、この尾根が北西側に細長く伸びた1,170m付近の尾根だと思われる。細い尾根から幅が広がった斜面をやや斜めに登っていく。この付近には、赤テープもあった。少し岩が混じってきた小さな尾根をさらに登っていくと、矢岳の山頂に飛び出した。何の変哲もない尾根の一角という感じの小さな山頂だったが、ルートファインディングしながら登頂した喜びに、みんなが握手をしあう。

山頂から少し下った広いコルで昼食にする。HさんとYさんに、コンロでお湯を沸かしてもらって暖かいものを流し込むが、それでも底冷えがしてくる。青空も次第に厚い雲に見えなくなってきた。

昼食場所をあとにし、歩き始めると雪が舞い始めた。みんな、今年初めて見た初雪だったので、感激する。しかし、寒さは身にしみてくる。

山頂からの下りは、かなり急で、滑らないよ

うに注意しながら下る。急なところを下ると、次第に道は歩きやすくなってきた。順調に歩き、



デンゴ平やフナイド尾根の分岐を過ぎ、鉄塔のすぐ下にあるクタシノクビレから、大反山に登る。ここは、大反山を巻くルートがあったのだが、登ることしか頭になく、巻き道を見落としてしまった。これが、その後、道に迷う最初のつまずきになってしまった。



大反山を過ぎ、祠の脇を通過して急なところを下っていくと、若御子山に到着した。ここから北西方向に下ってみたが、赤テープもなく、傾斜もかなり急になってきたため、引き返すことにした。若御子山から北側に下りる赤テープを見つけたが、ものすごく急なため、メンバーの疲れ状況なども考えると、大反山か、その近くまで戻って、正規のルートを探すことにする。登り返しは、疲れた体に應えるが、太陽が山陰に沈み、薄暗くなってきたので、のんびりはしてられない。

祠を過ぎたコル状のところで、Nさんが赤テープを発見した。このテープをたどってみると、

安全なところを下っている。道ははっきりしていないが、間違いなく地図に書かれたルートだった。しばらく下ると、大反山の巻き道に合流した。この道は、しっかりした道で、もう迷うところはなかった。予定より30分遅れの17時に武州中川駅に到着した。

標高1,357mの目立たない山であったが、ルートファインディングが難しく、また7時間3

0分も歩き続けたことで、充実感のある山行になった。

#### コースタイム

ゲート(9:30)...登山口(10:40,10:45)...矢岳(12:45,13:20)...フナイド尾根の分岐(14:40)...大反山(15:10,15:20)...若御子山(15:40)...武州中川駅(17:00)

倉岳山は、雨のため中止しました。

### チビさんの初山行

春の『秋が瀬ふれあいハイキング』に3歳の翔太郎が参加して“歩けたよ”という話を4歳の健弘が聞いていて『ぼくも行きたい』と言い出し、私の顔をみるたび、声を聞くと『ばくいっぱい歩ける』と何回もアピールするので、ぎりぎりまで悩んだのですが、岩殿山に連れて行ってみました。

両親が『頗る楽しくなって帰ってきた』『ひとまわり大きくなって成長したみたい』とびっくりして、いい経験が出来たと喜んでいました。親から離れて本当に大丈夫なのか心配だったようです。

山では『みかちゃ〜ん』の連呼で、美香ちゃん、俊ちゃんに遊んでもらいお世話になりました。本人は『楽しかった。又お山に行く』と言っております。その時はご迷惑をかけると思いますがよろしくお願いします。

記：K

### 講習会報告

#### 岩登り講習会(日和田山)(9月10日)

参加者 会員(障害者2名、健常者6名)  
会員外(障害者1名、健常者1名)

今回は、総勢10名という岩登り講習会では、かなり多い参加者となりました。

会員外で参加したTちゃんは、ふれあいキャンプに参加した養護学校に通う15歳の高校生です。初めての岩登りを経験し、大きな自信



頑張った岩登り初体験のTさん

になったのではないのでしょうか？

また、同じく会員外で参加したSさんは、Tちゃんの遊び相手になっていただき、大変お世話になりました。

今日は、9月中旬ですが、ものすごく暑く、

汗だくになって岩を登って技術を高めました。岩場には多くのパーティーが来ていたため、女岩だけになってしまいましたが、何度か登り下りを行いました。

## その他事業報告

### 八千代市こんにち“わ”ふれあいまつりに参加(11月3日)

参加者 会員(障害者1名、健常者9名)

スタンプを押しました。

今年も千葉県八千代市の市民活動グループを応援している「市民活動サポートセンター」が主催した、「第3回こんにち‘わ’ふれあいまつり」に山仲間アルプも参加しました。

今回は、山仲間アルプの活動紹介として、模造紙で活動の様子を説明したり、活動の様子を四季にまとめたアルバムで紹介したりしました。また、山に関するクイズを実施し、子どもたちを中心に楽しんでもらいました。

今回は、まつりのスタンプラリーのブースに選ばれたこともあり、山のクイズと連動させ、クイズに答えてくれた方に飴をプレゼントし、ス



スタンプラリーに集まる子どもたち

このような催しに参加できたことを、八千代市市民活動サポートセンターに感謝すると共に、山仲間アルプの展示に駆けつけてくださった会員のみなさま、どうもありがとうございました。また、山仲間アルプのブースを訪れていただいたみなさまに感謝いたします。

### 第1回ミニハイキング(11月23日)

参加者 会員(障害者3名、健常者9名)

会員外(障害者5名、健常者9名)

八千代市の友愛みどり園さんに通う知的障害者の方やその親御さん、園の職員の方に主に参加していただき、第1回目のミニハイキングを開催した。過去に計画したものは、雨などで2回とも中止になっていたため、今回はぜひ実

施したいという思いが通じたのか、今にも泣き出しそうな空ではあったが、最後まで雨に降られることなく実施することができた。

東葉高速鉄道の村上駅に集合し、自己紹介のあと、イトー



楽しませてくれたモズ(雄)

ヨーカドーに入って、トイレを済ませて出発した。緩やかな流れの新川に沿って、左岸を下流

から上流に遡っていく。稲刈りの済んだ田んぼや畑を見ながら歩く。先頭と最後尾のペースが違い、かなり離れたが、いくつかある川に架かる橋のところ、先頭が待っていてくれた。宮内橋で川を渡って右岸側を歩く。

送電線の鉄塔に、ワシタカの仲間が止まっていた。ノスリかと思ったが、帰って写真を調べたらチョウゲンポウだった。野鳥は、他にモズ、カワラヒワ、オオバン、コサギ、チュウサギ、カワウなどを見ることができた。

桑納川公園で昼食を取りながら、望遠鏡でモズを見たりして楽しむ。ここからさらに川を遡り、八千代橋を渡って八千代ふるさとステーションで休憩をする。休憩後、全員揃って記念写真を撮り、米本団地バス停まで歩いて解散とする。

### 清水公園ふれあいハイキング(11月26日)

参加者 会員(障害者1名、健常者7名)  
会員外(健常者3名)

今回は、参加人数は少なかったが、4歳の子から70歳代まで幅広い人たちが参加し、初参加の方もいて、のんびりと和やかに楽しむことができた。天気も、少し寒かったが、時折青空も覗き、まずまずだった。



花ファンタジアを歩く

清水公園駅から歩いて清水公園内の花ファンタジアで、きれいな花を楽しむ。ジョウビタキ

る。



八千代ふるさとステーションにて

### コースタイム

村上駅(10:50) ... イトヨーカドー(11:00, 11:20) ... 桑納川公園(12:30, 13:15) ... 八千代ふるさとステーション(13:40, 14:15) ... 米本団地バス停(14:25)

やエナガ、シジュウカラ、メジロ、モズ、カルガモ、ハクセキレイなどの野鳥も現れて楽しませてくれる。紅葉も美しく、園内をゆっくりと花を見ながら歩き回る。ガラスハウスの右手には、センニチコウやケイトウがきれいに咲いていた。コスモスもまだ少し残っている。



センニチコウの花を前に記念写真

ガラスハウスで休憩し、第2公園広場で昼食にする。寒くてゆっくりできないため、少し早めに清水公園の外に出て、座生川や座生沼の畔を歩く。アオジやコガモを見ることができた。カラスウリの実もまだぶら下がっていた。水門の下にはカイツブリ、アシ原にはホオジロなどがいる。上空にはチョウゲンポウかと思うがハヤ

ブサの仲間が飛んでいた。江戸川の堤を少し歩き、岩名古墳を見学する。古墳の前には、どんぐりが無数に落ちていた。

座生川に沿って清水公園に戻る。木の枝に止まっていたのは、ホオジロかと思ったが、カシラダカの可能性が高いように感じた。バーベキ

ューガーデンの近くで休憩し、清水公園駅に向けて帰ることにする。

#### コースタイム

清水公園駅(10:20)...(花ファンタジア)...第2公園広場(11:30,12:10)...清水公園駅(14:25)

## 個人山行報告

### 日和田山岩登りトレーニング(11月5日)

参加者 会員(健常者3名)  
会員外(健常者1名)

岩登りトレーニングをしたいという要望があり、日和田山で実施した。

今回は、参加者も少なかったのだが、岩場も人が少なく、空いていた。そのため、女岩、男岩と、基本的なところは全て登れた。

女岩の3級ルートを2回登り、男岩の南面のフェースを1回、男岩西面のフェースを1回登った。最後に、おまけで希望者だけで、ステミ

ングルート(5級)やバルジルート(5級+)を登った



体を垂直にして岩場に立つことが基本

## 各種連絡事項

### 理事会の議事録

10月19日と11月29日に開催した議事録を添付しました。なお、11月29日の議

事録は議事録署名人に回覧中ですので、参考としてください。

### ホームページ情報

ホームページのアクセス数は、11月末日現在約33000のアクセスがありました。ホームページは、機関誌に掲載できない多くの写真が掲載されています。パソコンをお持ちの方は、ぜひご覧ください。さらに、メールを使える方同士で、メーリングリストも運営していますの

で、パソコンをお持ちの方で、メーリングリストに参加を希望される方は事務局まで申し込みください。また、各種情報も迅速に流しています。もし、これからパソコンを購入したいという方がいましたら、ぜひ事務局までご相談ください。

## 友好団体紹介

今回は、NPO法人モンキーマジック代表の小林さんからいただいた寄稿文と参加された岩本氏の感想を紹介させていただきます。

### 「フリークライミングが広げる新しい可能性」

NPO法人モンキーマジック 代表 小林幸一郎

フリークライミングはクライミングジムの出現により、急速のその愛好者を幅広い年代に広げた。平日の昼間のジムではリタイアされた方達がこつこつと自らの課題に向き合い、夜は週末の外岩に向けてトレーニングに励む会社帰りの人々。さらには週末の親子連れ。こんな流れを受け、岩場でも同じような姿をたくさん見かける。さらに最近は彼らと同様にフリークライミングに取り組む視覚障害者を、ジムで岩場で見かけることが出てきたのだ。

私どもモンキーマジックでは主に視覚障害者を対象として、フリークライミングを通じた障害者の理解深耕と自立支援や社会性向上を目的として、主に毎月数回のスクール開催や、体験会・講演会などの普及啓発活動などを行っています。今後全国の視覚障害者にもクライミングの機会を届けるべく活動を発展させてゆく予定です。

#### I氏の感想

モンキーマジック（NPO法人）は、小林幸一郎氏が昨年始めたクライミングスクール。小林さん自身が弱視の視覚障害であることから、身体的なコンディションにかかわらず、誰もがフリークライミングを楽しめるようにと始めたもの。

わたしは、ことし、まったくの偶然からこのモンキーマジックに出会い、スクールのほうへも何度か参加しています。ひとことで感想を言うとしたら、とにかく集まってくる人がおもしろいということでしょうか。誰にでもドアを開いていることから、年齢・性別・障害の有無など、さまざまな個性をもつ人たちが集まってきていつもにぎやかにやっています。



## 今後の計画

### 2006年度事業計画の一部訂正

2月4日に予定していた宝登山を、事務局の都合により1日早め、2月3日(土)に変更さ

せていただきましたので、よろしくお願ひします。

### 臨時総会の開催

次年度の活動計画などを決めるため、臨時総会を以下の通り開催しますので、ぜひご参加ください。

日時：平成19年1月13日(土)15時～  
場所：世田谷区上馬地区会館

### 読図講習会の開催

臨時総会当日、以下の通り読図講習会を開催しますので、ぜひご参加ください。

日時：平成19年1月13日(土)

13時30分～(総会開始前となります)

場所：世田谷区上馬地区会館

なお、この机上講習会のあと、実際の山行で読図練習をします。そちらも、ぜひご参加ください。

### 新年会開催のお知らせ

臨時総会終了後、希望者で新年会を開催します。駒沢大学周辺で、約4,000円の会費で行いますので、参加希望の方は、お申し出ください。

参加希望者には、場所などが決まりましたらお知らせします。

### 植物講習会のお知らせ

2月に花と昆虫との関係に詳しい研究者田中氏をお招きして、花と昆虫のおもしろい関係について講習会を行う予定です。詳細が決ま

りましたら、別途お知らせしますので、ぜひご参加ください。

### 個人山行の計画

個人山行を計画されている方は、事務局まで計画書を提出ください。計画書を提出していないと、スポーツ保険の対象にならない可能性が

大です。もしもの時のために、必ず提出するように心がけてください。

## 会員情報

### 新入会員のお知らせ

9月以降、下記の方が新しく入会されましたので、よろしくお願ひします。(敬称略)

正会員

## 編集後記

・理事長のつづやき

先日、知的障害者の親御さんが中心となって活動している「全日本手をつなぐ育成会」の全国大会（千葉大会）の1日目の分科会（幼児・教育）に参加してきました。

ここで本人活動を行っている知的障害者の方の話を伺うことができました。現在、30歳を少し超える年齢で、一般企業で働いているそうですが、子どもの頃、両親からお前はバカだと言われ、親から愛情をもらってこなかったと

話していました。サッカーの仲間だけが友達だったとも言っていました。

彼の話の中で、最も感銘したのは、これから自分のためではなく、他の障害者のために活動したいと言っていたことです。この話を聞いて、障害とはいったいなんだろうかと、考えさせられずにはられませんでした。純粋な心を持った彼に、ぜひ頑張ってくださいと思います。

・次回発行予定は、3月です。

参加申し込みやお問い合わせは事務局まで  
〒276-0022 千葉県八千代市上高野 1161-1-208  
NPO 法人山仲間アルプ事務局 網干 勝  
TEL.047-484-8308

障害の有無も、年齢も、男女も関係なく、みんなで山を楽しみたいね。自然は、誰に対しても平等だよ！！

